ものがたり

第二百八十八話

調布北3-4-3
有 前田屋
(0120)33-3793

令和4年8月発行

みなさん、こんにちは
少しは涼しくなって来ましたでしょうか。それにしても暑かったですよね。昔は夕方になるとさあーっと涼しい風が吹いたかと思うと黒い雲が立ち込め、ざーーっと夕立が必ず降りましたよね。その後の虹の鮮やかさと涼しさは良く覚えています。

「ヴィ～～ン、ヴォ～～ンカッカッカッ……」

子供の頃、一日中外で遊び回った夏休みの夜。風呂上がりのほてりとほどよい疲れが眠気を誘います。明け放った窓から入る冷気を天井近くに取り付けられた大型の扇風機がうなりながら眠りに引き込みます。この大型扇風機は近所で夜半食堂をやっていたお店の天井にあり、首をぐるぐると回し、店内に風を送っていたかなり年代物の扇風機を譲り受けたもの。かなり大きな羽根はスイッチを入れてもすぐには動き出さずしばらく「ウ～～ーン」とうなりながらゆっくりと羽が回り出します。

やっと調子良く回ったかと思うとどこかで「カッカッカッ……」とひっかかるような音。これが良いリズムを造ってくれます。

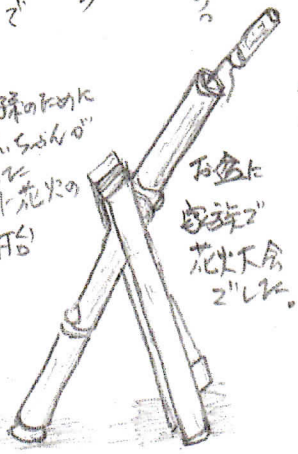
「ほら……腹出してねっこすると腹こわすぞ……」と山のように乾いた洗濯物をたたみながら世話をやきます。「早やぬれや！！まだねないのがあけば外に打たせてあるスイカもってこいや……」

「ヤッター、スイカ！スイカ！」「キビもあるすけ……いっぺ喰うな、腹こわすろ……」

「どっちにしても腹こわすがあねか。」

先日、孫達も寝静まり、テレビもついていない静かな居間。風呂上がりに汗をぬぐいながら缶ビールを呑んでいると、扇風機の風とや、「ファーー」と流れてきます。

「扇風機の風とや、寝冷を誘うなあ……」と遠くを見ながら独り言……



山形 子宝リキュール

720ml
1,430円
～1,980円

山形県のフルーツリキュール。「子宝」リキュールは山形県の酒蔵が地元のフルーツを利用し、果汁たっぷりのリキュールを発売しています。これまで全国的に人気となり入手困難でありましたが、この度、取り扱いがかなう販売させていただく事となりました。一番人気は日本初のヨーグルトリキュール。その他山形の名産果実ラ・フランス、ももさくらぼや番外編のマンゴーなど人気です。一度おためしください。

秋あがり ひやおろし

高千代、鶴齢、想天坊、我の寒中梅

この時期各蔵元から秋の限定酒がぞくぞくと発売になります。10月上旬には出揃うようです。しぼりたての新酒を生で貯蔵したり、一回火入れをしたりして、貯蔵します。夏を越し秋風が吹くころに熟成がすすみまろやかになります。秋あがりとかひやおろしと呼ばれる商品です。

風土が人と酒を育み 酒は人をつなぐ

有前田屋